

医療法人社団ワンアンドオンリー 麻生歯科クリニック

麻生 幸男

Yukio Aso

患者本位の小児早期口腔管理を実現。
自立性まで育てる独自の取組が話題。

取材文／長田英一



静岡で、総合歯科治療を行う麻生歯科クリニック、小児歯科専門の麻生キッズデンタルパーク、矯正治療専門のアソルソを展開する医療法人社団ワンアンドオンリーの麻生幸男理事長。小児の早期口腔管理を患者主導で進めるシステムを構築したキッズデンタルパークは、地元で圧倒的な支持を得ており、多くの歯科関係者が全国から視察に訪れる。その成功の秘訣を伺った。

——開業当初から予防歯科に力を入られていたのでしょうか？

麻生 開業時はユニット2台の小さなクリニックでしたが、患者さんの主訴を改善して、それなりにご満足いただけていたと思っていました。しかしながら、5年経ったぐらいから再治療で訪れる患者さんが目立つてきました。それが一つの転機になったように思います。これまでやってきたことが患者さんのためになっていくのかという疑問から、発想の転

換が必要だと感じ、診療の根幹を予防にシフトしたかたちです。それから、日吉歯科診療所の熊谷崇先生の勉強会や東京国際歯科六本木の宮下裕志先生のスタディグループで予防歯科における診断学を学びました。特に、宮下先生のEPSCDには10年ぐらい通いまして、リスク管理に基づく予防全人的医療を学ばせていただきました。

——クリニックの方向性を変えることはパワーがあることだと思いますが、大変ではなかったでしょうか？

麻生 やはり新しいことにチャレンジしようとする、どうしても抵抗勢力が出てきてしまいます。ただそこで、自分の都合だけ押し付けてはダメだと思い、予防歯科の必要性だったり、自分が思い描く夢だったり、何のために歯科医院で働くのかという哲学的なことまでとことんまで話し合いました。それから、熊谷先生の勉強会にも宮下先生のスタディグループにも歯科衛生士のほとんどを連れて行きましたし、ユニットを増やして全て個室にするなどハード面とソフト面の両方を充実させるなど行動でも示したことで、納得してもらえたのだと思います。

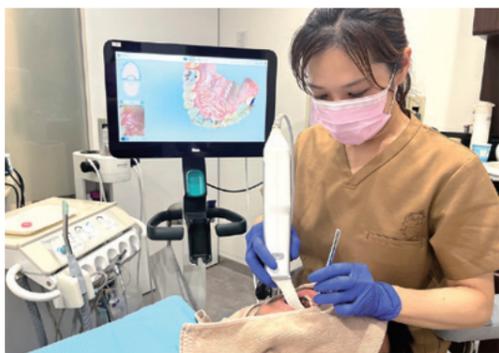
——メンテナンスでもマイクロスコープを使っていると聞きました。

麻生 当院では歯科衛生士1人につき1台のマイクロスコープを用意しています。診断の精度を上げるため、そしてクリニックとしての医療を標準化するためには歯科衛生士全員が使えるなければ意味がありません。20台ぐらいはありますが、もちろんお金はかかりましたが、それを上回るメリットがありました。また、当院ではマイクロスコープの他にも、口腔内スキャナーをスタンダードケアとして使っています。患者管理の面でもOHIの面でも、とてつもないメリットがあるんですよ。拡大してクラックを見せるとか、う窩の広がりを見せる場合はマイクロス

コープが有用ですが、歯や口腔内を360度回転して見せられるのは口腔内スキャナーでしか出来ません。毎回、データを取っておけば、歯肉の厚みや下がり具合などのモニタリングにも役立ちます。

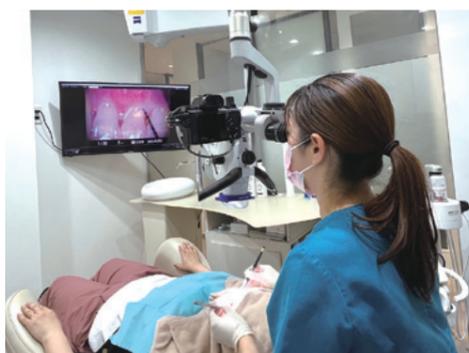
——口腔内スキャナーというと、補綴で使うイメージが強いですが、色々な面で役立つのですか？

麻生 補綴はもちろん、矯正でも使えますし、モニタリングにも使えますし、何より患者さんに気付きを与えることが出来ます。適用範囲は無限大ですよ。保険点数の物差しでオーラルヘルスを語ってはいけません。患者利益というもつと大きな視点で見ると、口腔内スキャナーもマイクロスコープも多岐にわたって使えるわけです。しかも、患者教育の観点でも、最初に投資したほうが良いと思います。来院された患者さんがそのまま10年通っていただけと考えると、その投資額なんて大したことではありません。ただ、これは予防管理型の医院だから出来ることだと思います。ストック型で患者さんが右肩上がりで増えていくため、5年後、10年後の予測が立ちますし、それに基づいて計画的な投資も出来るわけです。



——スタッフ教育についてはいかがでしょうか？

麻生 まず、新人教育については2年間の計画で行っています。直接教育を行うチューターや、管理を行うマネジメント担当など、何人かの指導・教育が出来る衛生士がチームとして、それぞれ1人の新人に付くかたちです。3ヶ月に1回、教育委員会を開いて、新人教育の進捗状況を技術的なことはもちろん、現在のモチベーションを含めて確認します。その際、自分のフィロソフィーや考え方が各チームのメンバーに伝わっているかどうかが重要で、それさえ伝わっていれば、大体のことは任せていられますね。





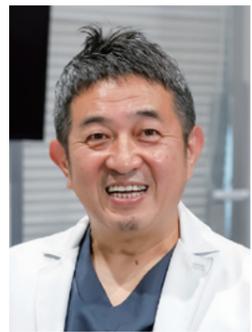
——それは子どもの成長にも繋がりますね。
麻生 そういったことも意識して、まして、821クラブを通して子どもの自立支援のサポートが出来ればと考えています。その一環として、当院では、3歳になったら母子分離を行い、一人で診療を受けていただくようにしています。通常であれば、恐怖心でなかなか難しい面があるで

ため仲間意識も出来ますし、診療の際は横並びでユニットに座りますので、あの子が頑張っているんだから、僕も私も頑張るという気持ちになります。まだ泣いている子どもがいても、こちらが言う前に、子ども同士で「みんな頑張ろうよ」と言ってくれることもありますよ。

——その流れとして、今年の1月にアンソルトンを作られたわけですね？
麻生 その診断がいち早く出来る。しかも、歯科衛生士が日頃の会話の中でそういった矯正治療の必要性をお伝えしているため、特にこちらからおすすしなくても、受けていただけるのです。これは経営面で大きなメリットになりますね。

——小児矯正にも力を入れているとお聞きしました。
麻生 821クラブでお子さんを見たり、親御さんとお話しておられますと、口腔機能不全の症例が多くなってきたことが分かります。

上顎骨も下顎骨も狭いために、叢生など歯並びの問題があったり、呼吸トラブルやアレルギー疾患にも繋がっているのです。そういったことを改善して機能を得るための矯正治療が必要になってくるわけですが、低年齢から口腔内を診ていることによつて、その診断がいち早く出来る。しかも、歯科衛生士が日頃の会話の中でそういった矯正治療の必要性をお伝えしているため、特にこちらからおすすしなくても、受けていただけるのです。これは経営面で大きなメリットになりますね。



Profile 麻生幸男 (あそう ゆきお)
1996年 明海大学附属病院口腔診断学講座入局
1999年 麻生歯科クリニック開院
2006年 医療法人社団ワンアンドオンリー設立
2009年 麻生キッズデンタルパーク開院
2024年 矯正歯科アンソルトン開院

日本口腔インプラント学会専門医
国際口腔インプラント学会認定医
ジャパンオーラルヘルス学会認定医

医療法人社団ワンアンドオンリー
麻生歯科クリニック
静岡県静岡市葵区春日2-12-5 A.S.Oビル

——最後に、今後の展望を教えてください。
麻生 まず、キッズデンタルパークのフランチャイズ展開を拡大させていきたいということがあります。あと、機能矯正をさらに進化させたいですね。ここからは、歯並びだけでなく口元自体を治すオーラルプロポーシヨンの時代が来ると思います。顎が歪んでいる患者さんはすごく多いですし、まだ潜在的にですが治したいと考えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。ですから、口腔

新たな考えを次々と行動に移し、具現化してきた麻生先生。自身の歯科医療に対する確固たる哲学と、実現させたいという情熱が、周りのスタッフの心を動かし、患者の支持を集めている理由だろう。

麻生 患者さんが増えてきて、一つのところでは診きれなくなったので、矯正専門のクリニックを開院しました。今お話ししたような小児矯正とアライナー矯正を主体にして、「より早く、より痛みがなく、より確実に」を診療コンセプトにして、患者利益を追求しています。

——小児歯科は子どもが泣いてしまつて大変だと聞くことがあるのですが？
麻生 テレビを



——毎日必ず、麻生先生も含めて全員で昼食をとっていらつしやるこのことですか？
麻生 50人ほど入れるセミナールームがありますので、そこで全員で食べています。やっぱり、ご飯を一緒に食べることは大事じゃないですか。そこでたわいのない話をして、スタッフの顔を見ていると、疲れているなとか悩んでいるなとか些細な変化も分かりますし、そうしたことに気が付いてあげることが大切だと思います。

——構想はご自身で考えられたのですか？
麻生 国内外の小児予防を実践されているクリニックを見せたいという風に、自分だったらどういう風にするかを考えました。主訴を言えない未病の状態の子どもたち来院してもらうのは大変です。いかに歯科に興味や関心を持ってもらつて、行つてみようと思わせられるか。空間



——話は変わりますが、キッズデンタルパークを始めようと思つたきっかけは何だったのでしょか？
麻生 予防歯科の聖地と呼ばれる、スウェーデンのカールスタッドに研修に行ったときに、オーラルヘルスセンターの年代別来院患者のデータを見せてもらつて、シヨックを受けたことが始まりです。定期来院が3歳から19歳で85%に達している、日本では考えられない数字に驚きました。それから、これは忘れもしないことなのですが、現地の講師の先生から、「本当に日本で予防歯科が出来の？そもそもあなたたちの気持ちは予防に向いているの？」と言われたんです。それで火が付いて、日本にも子どもからの予防歯科の意識と環境を根付かせようと、キッズデンタルパークを始めたわけですね。

——中でも、821(ハニ)クラブは特徴的な取り組みですね。
麻生 821クラブは3歳未満の子どもに1次予防を習慣づけのための学習教室です。遊びやゲームの要素を取り入れながら、歯ブラシを口に入れることやお母さんによる仕上げ磨きに慣れてもらいます。保護者の方にも同席していただくことで、予防の大切さを伝えられますので、患者教育としても重要な場です。その結果として、メンテナンス患者の増加に繋がりますので一石二鳥ですね。

見せたりゲームをさせたりしている歯科医院もあると思うのですが、当院では歯科衛生士と子どもが対話をしてしっかりと向き合うことにしています。診療時間など効率は悪くなりますが、そんなことは気にしません。そうすると、1時間も一緒にいれば、子どもの方が根負けしますから(笑)それに、対話していれば、心のスイッチがどこにあるのかも分かってきます。また、子ども同士を競わせることも大切です。821クラブは小グループ制の